



ちゅうこー

きつと何も変わらず
迎えるだろう…けどね。
2023年を
迎えるだろーのかな?

年が経つと何も変わらず
世界からみれば安全な日本ではあるし、誇
りと自豪感がある。でも、それがいつかは
現実の問題となる。年金が貰えず給料もあがらない。
定年を先延ばしても生活できないほど低い
年金しか貰えず給料もあがらない。
世界からみれば安全な日本ではあるし、誇
れのもの製品はたくさんあるだろうが、われわ
れに直接関係なく感じている。
それより子どもたちに置き替えて考えると
日本の未来はこれで良い

ほぼ日手帳ユーザーの葛藤

あけましておめでとうございます！今年もよろしくおね
がいします。

新年を迎え、毎年使っている手帳も新しいものに
チェンジ。ずっと「ほぼ日手帳」を使っていて今回で8冊
目。今までA5サイズの「オリジナル」を6冊、去年からコ
ンパクトなサイズの「weeks」を1冊使ってきました。



1日に書ける
日記スペース

「オリジナル」は1日1ページ書けるスペースがあり、そ
に日記を書いていました。ふらふらと生きている私に、1
日にA6サイズをびっしり埋めるような出来事はほん
なかつたのですが、自分の考えを書き出すことで頭の整理
ができるような気がして（内容はお察し）。手帳は持ち歩
きたいけどちょっと重たいし、中身すかすかな日記を書く
のもな～と思い、「weeks」にしたら日記を書くスペース
が1/6くらいになった。それはそれでちょっと少ない！笑
でも「毎日A6ページを埋めなければならない」という使
命感（私が感じてるだけ）から解放されて気が楽になっ
たし、荷物も軽くなったので今年も「weeks」を使うことに。
ただこの手帳兼日記をこれからどうしていくべきいいの

か少し悩んでて。あの頃そんな
ことあったな～と振り返ること
はできるのですが、実際8年前
とかの自分が書いた日記を読
むのは割と苦痛笑 そろそろお焚
き上げして供養しようかな～。



ちやんふ〜

2022年を振りかえって。
コロナウィルスと同居しながら過ぎた1年で
したが、ロシアによるウクライナ攻撃。
今では頻繁には扱われなくなつたが、未だ毎
日攻撃が行われインフラへの影響が大きく、
-10°Cの中でも電気も水道も止まるような世界な
のが実情です。
日本はというと国防費を増やすため増税を
目論んでいる。
燃料やガスの他、食物や工業製品にまで輸
入に頼ってきた日本。
安い賃金で買えるからと工業製品や自動車
などを海外で品物を造つて、今では働く場所
もなく人手も少なくて良いようにロボット化
を進める企業も多くなっています。

働いてやつとマイホームを購入しても持つて
るだけで税金がかかり、息子にあげるには贈
与税がかかるつて…。

定年を先延ばしても生活できないほど低い
年金しか貰えず給料もあがらない。

世界からみれば安全な日本ではあるし、誇
れのもの製品はたくさんあるだろうが、われわ
れに直接関係なく感じている。

それより子どもたちに置き替えて考えると
日本の未来はこれで良い

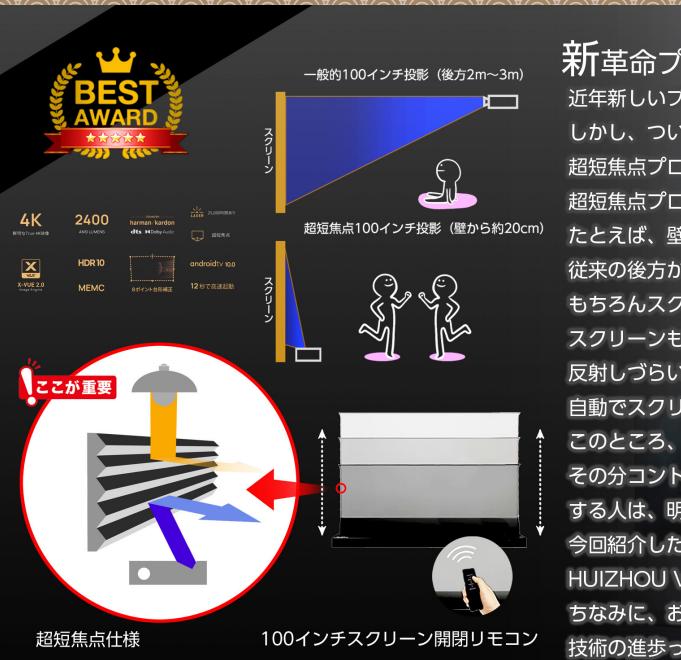


正月の見たき哉

よもやまばなし

睦月：水仙の間

新年あけましておめでとうございます。新しい画期的なアイデ
アや商品が続々と生み出される昨今。私たちは常に、何らか
の選択を迫られて生きているなと日々感じます。子供たちの明
るい未来のためにも間違った選択はしたくないです。今
年もこの四畳半にお付き合いいただけたらと思います～！



新革命プロジェクター！

近年新しいプロジェクターが発売されてきましたが、画質面での向上ばかりでなんか、頭打ち感。
しかし、ついに常識を覆す画期的な商品が発売されたので少しご紹介。
超短焦点プロジェクター！！…って言っても、いまいちピンと来ない？
超短焦点プロジェクターとは、スクリーンギリギリに配置して、下から上に投影するのが特徴。
たとえば、壁面から20cmの投影距離で100インチ、40cmで150インチの大画面での投影を可能。
従来の後方からの投影ではないため、部屋の空間を有効活用できることが嬉しい。
もちろんスクリーンの前を横切っても影が映らない！（←これ地味に凄い）
スクリーンも超短焦点用のがあり、特性を活かして下からの光は反射するけど上からの光は
反射しづらい仕様になってて、部屋の照明・窓からの光は抑えられているので、明るい部屋でもOK！
自動でスクリーンの上げ下げもできるので楽チン♪
このところ、光の明るさの凄さを売りにしているプロジェクターが多数あるが、
その分コントラスト（黒の綺麗さ）がなくなるので、映像の美しさを重視
する人は、明るさとコントラスト比がある商品を選ぶことをお勧め！
今回紹介したのは、XGIMIさんから発売されたプロジェクターと
HUIZHOU VIVIDSTORM～さんから発売されたスクリーンでした。
ちなみに、お値段は両方で60万と高価な商品。
技術の進歩って、ほんと凄い。



A・F